

令和5年度第1回岩手県後期高齢者医療広域連合運営協議会 要旨

- 1 開催日時 令和6年2月6日（火）午後1時57分から午後3時40分
- 2 開催場所 岩手県自治会館4階第5会議室（Web会議併用）
- 3 出席委員 対面参加：瀬川委員、齊藤委員、熊谷委員、小枝指委員、木村委員
Web参加：高橋（陽）委員、山本委員、内宮委員（代理：佐藤氏）、岡田委員、押切委員、高橋（聡）委員、野原委員（代理：太田氏）

- 4 欠席委員 なし
- 5 傍聴者 なし

6 会議の概要

（1）正副会長選出

高橋（聡）委員が会長に、木村委員が副会長に選出された。

（2）説明・協議

次の事項について、事務局から説明・協議を行った。

- ア 後期高齢者医療制度の動向等について
- イ 岩手県後期高齢者医療広域連合の運営状況について
- ウ 令和6・7年度後期高齢者医療保険料率の改定案について
- エ 岩手県後期高齢者医療広域連合第4次広域計画の策定について
- オ 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定について

（3）主な意見・質疑等

（委員）

マイナンバーカードについて、全国に比して岩手県の取得率は低く、また新聞報道等で不安に感じる部分もあるが、状況や、今後の見通しは。

（事務局）

マイナ保険証の前段として、マイナンバーカードの取得率自体が、岩手県は低い状況にある。被保険者が、マイナンバーカードを取得し、マイナ保険証を医療機関で提示して受診し、そのメリットを感じられるようになることが重要だと考える。より適切な医療が受けられるという部分をアピールしていきたい。

（委員）

医療費について、全国46位という低さについての要因は。

また、健康診査について、かかりつけ医に継続して通院していることから、健診は不要といった被保険者もいると思われるが、健診の目標値についての考えは。

（事務局）

医療費については、県土が広く、受診に至るまでの距離や公共交通機関の未発達といったことなどが、結果として医療費の抑制に繋がっている可能性がある。県内でも医療機関が多い地域の医療費は高い傾向にあり、地域差が大きい。実際のところ、健康であるから医療費が抑制されている、という状況とは言えない。

健康診査について、病院での受診とは別に、健診でしか分からない数値があり、重症化予防の観点からも、健診受診率は上げていかなければいけないと考える。市町村と知恵を出し合いながら受診率の上昇に取り組みたい。

(委員)

低栄養はフレイルに繋がり、死亡リスクが非常に高くなることから、重要なテーマである。取り組みを充実させるための見通しは。

(事務局)

令和2年度から開始している一体的実施事業の枠組みの中で、市町村が取組項目として選んで実施している。令和5年度は、7市町村が低栄養を選んでおり、KDB（国保データベース）から対象者を抽出し、健康管理や改善指導を行っている。今後も市町村にお願いしながら進めていきたい。